



“Hello Safety” 七里小学校

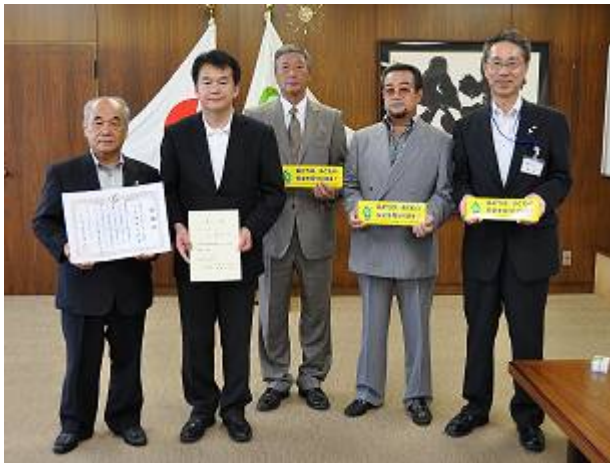
「学校安全ネットワーク」の充実に向けて、学校・保護者・地域が連携を深めた取組を行っています。

埼玉県トラック協会より「子ども安全協定」防犯シールの寄贈を受けました

防犯活動の見える化を図る「子ども安全協定」防犯シールを6,540枚寄贈していただきました。

防犯シールの寄贈を受け、市長から感謝状を贈呈いたしました。

約6,800台の車輛を保有している埼玉県トラック協会とは「子ども安全協定」を締結しており、トラックの運転者の方々にも、日々、子どもの安全を見守っていただいております。



トラック協会のみなさんと、市長、教育長

教育委員会では、道路を行き交う方々に地域防犯の意識を持っていただくとともに、防犯シールを車輛に貼ることにより防犯の「見える化」が図られ、犯罪を未然に抑止する効果があると考えています。

私たちは、子どもの安全を見守ります！



子どもの安全を見守る事業者・さいたま市教育委員会

寄贈を受けた防犯シール (6,540枚)
これを事業者の車輛に貼ります。

(1)本校では、学校と保護者と地域が役割を分担し、児童の安全を見守っています。

①防犯ボランティアの方21名が曜日を分担し、登校指導と午後の学校周辺の見守活動を行っています。



防犯ボランティア

②保護者の方々が3・4人のグループを作り、毎日午後交代で学校の校地内の見守活動と通学路のパトロール活動を行っています。



PTA

③教職員は学校の周りや校地内をパトロールします。

④年3回「防犯ボランティア連絡会・七里小学校安全ネットワーク会議」で意見交換を行っています。



安全ネットワーク室

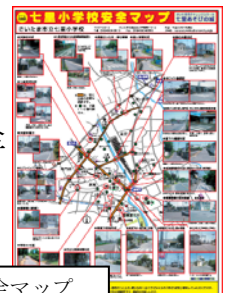
⑤安全ネットワーク室の設置で情報を共有します。

(2) 夜間パトロールを実施

夏休みに2回、青少年育成会、交通安全保護者の会、保護者会、民生・児童委員、交番連絡協議会、警察署、PTA、おやじの会の方々約40名で夜間パトロール(20:00～21:00)を行っています。

(3) 七里小学校安全マップの作成

『ななさとあそびの城』の支援のもと、PTAの協力を得て「七里小学校安全マップ」を作成しました。全家庭・地域関係者に配布し、危険な個所やよく遊びに行く場所等について確認しています。



安全マップ

(4) 成果

たくさんの方々による児童を見守る体制ができ、児童及び保護者の防犯や交通安全に対する意識も高まりました。また、保護者等と地域の方があいさつをかわす機会が多くなりました。さらに、児童のあいさつが大きな声でできるようになりました。



防犯ワンポイントアドバイス

教育委員会では、各学校にて取り組んでいただいている「学校安全ネットワーク」をさらに強化するため「子ども安全協定」の締結を24の事業者と行い、現在、約11,000台の車輛が子どもの安全を見守っていただいております。この取組をより有効なものとするために、「事業者」のみならず、「子ども」「学校(教職員)」「保護者・防犯ボランティア」が「子ども安全協定」について理解を図ることが重要です。また、不審者に遭遇した子どもがいる場合は、周囲に助けを求めるのにあわせ、トラックやバス、タクシーなど、事業者の車輛に対し身の危険が迫っていることを身振り手振りで伝え、助けを求めるなどすることで、車輛の運転手の方が非常事態に気づきやすくなります。